



海外支援をかたる不審な

電話や訪問に注意してください！



貴金属類などを求められる場合があります！ご注意を！

9月下旬頃、「登別市の～」や「登別市役所から委託を受けている～」など、市が関係していると思わせるような組織名を名乗り、海外支援をかたった不審な電話があったとの情報が市役所に複数件寄せられました。

最初はお皿などの不要品を求めていたものの、話を進めていくと、貴金属類などを求められる可能性があるため注意が必要です。

(※今回は、電話を受けた方が不審であると感じて市役所へ電話されたケースです。)

今回の事例は？



①登別市役所をかたる業者から、「海外支援のための物資を回収しています。」「今日の午後から訪問するので、用意して待っていてください。」といった不審な電話があった。

②相談者は困惑し聞き返したところ、相手は黙って電話を切った。

※訪問買取のトラブルにつながる可能性があります。
自宅の情報などを聞かれても答えないようにしましょう！

トラブルにあわないためのポイント！



- 1 登別市では現在「海外救援金」の募金受付は行っていますが、電話や訪問などで直接物資や寄付を募ることはありません。
- 2 また、市の職員が直接市民に電話をかけ、お金が戻ることや金融機関のキャッシュカードの暗証番号を聞いたり、通帳等の提示やATMへ行って操作を求めることは絶対にありません。
- 3 市職員が各家庭へ訪問する際は、必ず所属と氏名を名乗り、身分証を携帯しています。

少しでも不審と思ったら

対応しないですぐに電話を！

●室蘭警察署

(☎46 - 0110)

●登別市消費生活センター

(☎85 - 3491)

※裏面は全国の実例です。決して他人事ではありません。

不要なお皿の買い取りの**はずが**、 大切な貴金属も強引に買い取られた！

—訪問購入のトラブルが増えています—

【事例1】

突然自宅に電話があり、「皿1枚だけでもいいので」と食い下がられしかたなく訪問を承諾した。訪問を受けた際「鑑定してあげるから」などと言われ、結局売るつもりのない貴金属まで強引に買い取られてしまった。

(70歳代 女性)



【事例2】

「不用品を買い取る」という電話だったのに、「貴金属はないか」「査定だけでも」と長時間居座られ、根負けして貴金属数点を約1万円で売ってしまった。冷静に考えると1万円は安い。取り戻したい。(60歳代 女性)



👉 ここが問題！訪問購入のトラブル！



- 「なんでもいいから不用品はないか」「被災地支援に協力してほしい」など、あの手この手で心理的ハードルを下げて来訪の承諾を得ようとする手口が見られます。
- 売るつもりがなかった物品も強引に買い取られる事例が目立ちます。

👉 トラブルに遭わないためのポイント！

- 買い取りの勧誘を承諾していない貴金属の売却を迫られたら、きっぱり断りましょう。
- クーリング・オフ期間内は、購入業者に物品の引き渡しを拒むことができます。
期間内は物品を渡さないことも一つの手です。



独立行政法人

国民生活センター

(2023年9月作成)